

ポートフォリオうんちく (4)

前回のポートフォリオうんちくでは、「自分なりに学習目標を立てて学習し、ポートフォリオを書いたあと、そのポートフォリオを振り返って、目標を達成できたかどうかを考えてみるのが大切です!」とお話しました(9月号参照)。では、その次のステップについてお話ししたいと思います。「目標にたどり着いたかなあ……?」と振り返ってみると、まだ学習が足りない点があった、学習してみてもっと調べたいと思った

点があった、など色々感じることもあると思います。そういった振り返りの結果も、ポートフォリオに書いておきましょう!すると、時間が出来たときに、調べるべきことが一目瞭然で、すぐに取り掛かることが出来ます。また、学習内容をさらに深めることができるので、一度の学習で達成できなかった目標にも、最終的に到達できるはずです。

「道薬誌」本号(11月号)『最新の治療ガイドライン』についての実践記録

テーマ	急性中耳炎について	学習目標：中耳炎の病態や治療に対する知識の整理と確認
	<p>急性中耳炎の定義：急性に発症した中耳の感染症で、耳痛、発熱、耳漏を伴うことがある。 急性：症状発見から48時間以内に受診 軽症例は3日間は抗菌薬の投与を行わず自然経過を観察 抗菌薬のファーストチョイスはサワシリン(パセトシン)、オーグメンチン、クラバモックス、メイアクトが推奨 投与期間は5日間</p> <p>反復性中耳炎に十全大補湯??(葛根湯はダメなの?保険適応あるのはツムラと三和の葛根湯のみだけ)</p> <p>治療アルゴリズム</p> <p>軽症 経過観察→改善あり 経過観察 ↓ 改善なし サワシリン3日間投与→改善あり さらに3日間 ↓ 改善なし サワシリン高用量 又は オーグメンチン 又は メイアクト</p>	<p>中等症 サワシリン高用量3日間→改善あり さらに2日間 ↓ 改善なし オーグメンチン 又は メイアクト 又は 鼓膜切開+サワシリン ↓ 改善なし 鼓膜切開+オーグメンチン 又は 鼓膜切開+メイアクト高用量 又は オラペネム 又は オゼックス</p> <p>重症 サワシリン高用量 又は オーグメンチン 又は メイアクト高用量 上記で改善が無ければ 鼓膜切開+オーグメンチン 又は 鼓膜切開+メイアクト 又は オラペネム 又は オゼックス 上記で改善が無ければ 鼓膜切開+オラペネム 又は 鼓膜切開+オゼックス 又は ビクシリンかロセフィンの点滴</p>

オラベネム→カルバペネム系

カルバペネムはβラクタム系の硫黄が炭素に置き換わったもの

β-ラクタム系抗生物質と同様に細胞壁構築阻害作用がある

細胞壁のないマイコプラズマやクラミジアには効果はない

カルバペネム骨格はペネム骨格に比べさらに化学的に不安定

キサシンと同様、小児での安全性が認められる数少ない薬剤

わからなかったこと

中耳炎の病態についてももう少し復習が必要
PVCワクチンについて解らなかったのだからなる学習が必要

オラベネム、オゼックスは自分にとっては馴染みの少ない薬剤なのでもう少し調べてみる

オゼックス→ニューキノロン系

ニューキノロン系抗菌薬としては、ノルフロ

課題：抗菌薬の知識があやふやである。

抗菌薬の分類、違いについて復習する。

添削コメント

これまでに筆者が“うんちく”の中でお話してきたポイントを抑えて書いてくださったポートフォリオですね！参照した資料、学習目標がきちんと書かれています。素晴らしいですね♪さらに、学習を終えて、学習内容を振り返り、「わからなかったこと」と「課題」までもが記載されています。今回お話したように、振り返りの結果は次の学習につながり、さらに学習効果を高めることになりますので、非常に有用なポートフォリオになっていると思います。つまり、このような書き方が出来ているポートフォリオはまさに「自分のためになるポートフォリオである」と言えるでしょう。

付け加えるとすれば、ガイドラインには改定が付きものですので、何年のガイドラインを参照したのか、また、学習した日にちを記載しておくより良いでしょう！

(北海道薬科大学 准教授 山下 美妃)

国試問題を解いてポートフォリオを書いてみよう！

◆ JPALS 国家試験問題 ◆

問1 文章中の()に入る適切な語句はどれか。1つ選べ。

チーム医療とは「多種多様な医療スタッフが、()を前提に、目的と情報を共有し、業務を分担しつつも互いに連携・補充し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供すること」と一般的に理解されている。

- 1 業務負担の軽減
- 2 医師への依存
- 3 人件費の削減
- 4 各々の高い専門性
- 5 医行為の規制緩和

問2 かぜ症状を訴えて薬局を訪れた来局者に、薬局製剤の葛根湯を販売することとなった。来局者への説明として適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1 胃の弱い人でも安心して服用できる。
- 2 インターフェロン製剤との併用は禁忌である。
- 3 頭痛や肩こりにも効果がある。
- 4 食前又は食間に服用する。

▶ 解 説 ◀

問1 解答：4

解説 チーム医療とは、多種多様な医療スタッフが各々の高い専門性を最大限にいかし、組織的に患者に最適な医療を提供すること

である。代表的な医療チームには、院内の感染に関して活動を行う感染制御チーム (ICT) や、患者の管理栄養などを行う栄養サポートチーム (NST) などがある。

問2 解答：3、4

解説

- 1 誤 著しく胃腸の虚弱な者は、食欲不振、悪心、嘔吐等が現れることがある。

- 2 誤 小柴胡湯との併用は禁忌とされている。

- 3 正 感冒、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛み

- 4 正 葛根湯の用法は通常は食前、又は食間に経口投与とされている。

ご案内

第15回北海道禁煙指導研究会 禁煙指導・支援in北海道2013

日時 平成25年11月16日(土) 13:30~17:00

場所 北海道医師会館 8階会議室
(札幌市中央区大通西6丁目6番地)

参加料 無料

第1部 パネルディスカッション

テーマ： 13:40~15:00

多職種による禁煙支援

～効果的な取り組みを探る～

パネラー：

医師 歯科医師 薬剤師 看護師

第2部 一般演題 15:10~17:00

・禁煙外来の調査結果報告

15:10~15:30

・一般演題

15:30~17:00

(全6題を予定)

●お問い合わせ

北海道健康づくり財団 (山根)

TEL: 011-232-5500